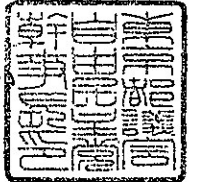


平成29年4月4日

東京都知事

小池百合子 殿

東京都議会自由民主党
幹事長 高木 けい



入札契約制度改革に関する緊急要望について

現在の入札契約制度は、これまで都と都議会及び業界団体が一体となって、適正なあり方を検討し、その成果を反映させ構築してきた制度である。

こうした中、去る3月31日、都政改革本部の内部統制プロジェクトチームから、現行制度を根底から覆す、「入札制度改革の実施方針」が唐突に公表された。

この改革の内容は、これまで長年の歳月をかけて構築してきた入札契約制度のあり方にまったく逆行するものであり、これにより入札不調の頻発、ダンピングによる品質低下等を招くことは明らかであり、かつての悪しき制度運用に先祖返りするものと言っても過言でない。

都は、このように、受注する民間事業者等に重大な影響を与える制度改革について、事前の相談はおろか一切の情報提供を行うこともなく、突然発表し、しかも2カ月後の6月から試行するとしている。

こうした都の対応に対して、これまで都の公共事業の円滑な執行に寄与してきた民間事業者の方々から、強い憤りが提起されており、これまで培ってきた信頼関係を大きく傷つけることが懸念される。

については、内部統制プロジェクトチーム／特別顧問・財務局は、今回の制度改革について、関係業界団体から直接意見を聴取し、意見交換を行う場を設けることを緊急に要望する。

以上